

The Supporters Times

November 1, 2009 (Monthly) No.172

高い理想と志を持った政治家に！！



オバマ大統領がノーベル平和賞を受賞しました。就任して1年にも満たない首脳への授賞は極めて異例のことであり、今後への期待の意味合いもあるにせよ、私自身は、とても有意義なことだと喜んでます。

オバマ大統領の政治理念は、就任後初の欧州歴訪のなかで4月5日に行った「核なき世界」を目指す訴えたプラハ演説に集約されていると思います。彼の発した核軍縮路線や気候変動問題で国際社会全体を「チェンジ」したいというメッセージが、世界の人びとの心を揺さぶったということでしょう。やはり政治家にとって大切なことは明快なヴィジョンを示して、リーダーシップを発揮することであり、政治指導者のヴィジョンとイニシアティブ次第で、変革への一歩を確実に踏み出せることを改めて教えてもらいました。

ノーベル賞委員会は「人びとによりよき未来への希望を与えた」と称賛し、「国際的な外交と諸国民の協力を強めることに対して並はずれた努力をした。特に“核なき世界”を目指すとする理念と取り組みを重視する」と述べ、そのうえで、多国間外交や気候変動問題で建設的な役割を果たしていると評価しました。

アメリカとロシアの戦略核の保有数は、1970年には各々20,000～27,000でしたが、冷戦終結後から徐々に減少し、2009年現在で、アメリカが約5600、ロシアが約3900保有しているといわれています。やはり、オバマ自身が演説しているように「追求しなければ平和は永遠に我々の手に入らない」のです。不可能だといわれていた奴隷解放を実現したリンカーンも同様だったことでしょう。

だからこそオバマ大統領がプラハ演説で「核兵器を使用した唯一の核兵器国として、アメリカには核軍縮へ行動する道義的責任がある」と明言し、「核なき世界を目指す」と宣言した意義はとても大きかったと思います。その後、ロシアとの核軍縮交渉に着手する一方、8月には核保有五大国の首脳が一堂に会した国連安保理の会合を主宰し、「核兵器のない世界」を目指す歴史的な決議を全会一致で採択に導きました。来年5月には、核不拡散条約の再検討会議も開催されます。

アメリカの歴代大統領はトルーマン以来、「原爆投下は戦争終結を早めた」として原爆投下を正当化してきました。あのクリントンでさえ同じでした。オバマ大統領は、今月12日に来日する予定ですが、ぜひ被爆地の広島や長崎を訪れ、被爆の実相に触れてほしいと思います。おそらく自分は間違っていないと再認識していただけるでしょう。

いよいよ政権交代後はじめての臨時国会がスタートします。政治家は常に、高い「理想」を持って、それを「現実」に変えるために行動を起こさねばならないことを肝に銘じて取り組んで参ります。

衆議院議員

秋葉賢也

Think Globally, Act Locally!

あしあと

☆秋葉代議士はいつでも現地現場主義☆

皆さまの想いを形に！3期目も現地現場主義で皆さまの本音を、永田町に届けます！



9月

27日 東北方面隊の創隊49年式典&祝賀会



陸上自衛隊の皆さまの日頃の訓練のおかげで、宮城県内陸地震や角田の林野火災をはじめ、有事の際の私たちの暮らしの安全が守られていると感じました。改めて、感謝と敬意を表します。

28日 谷垣新総裁のもとで再出発！

自民党総裁選挙では、谷垣禎一氏が新総裁に選出されました。秋葉代議士は総裁選管理委員として各地での遊説に同行し、当日もステージ上で投票を見守りました。

自民党に対する皆さまからの批判を真摯に受け止め、政治への期待に応えることができるよう、一層気を引き締めて取り組んで参ります！

10月

4日 セントラル自動車工場の予定地視察



セントラル自動車の本社工場が大衡村に移転するのに伴い、東北自動車道大和ICと古川ICの間に大衡ICが整備されることとなりました！工事の安全を祈って鉄入れです！

30日 泉地区の保護司会に参加しました



秋葉代議士は平成16年から保護司を務めています。国政1期目では法務委員会にも所属しました。普段はなかなか保護司としての活動はできませんが、制度作りの場に声を届けることが使命だと思います。

10日 みちのくYOSAKOIまつり



東北6県をはじめ、北海道や関東から約200チーム・1万人の方が参加されたそうです。会場の勾当台公園市民広場は熱気に包まれていました！

第20回 じん肺全国キャラバン東北集会

じん肺被害の問題を一刻も早く解決するために、尽力します！

スポーツの秋



地域の運動会に呼んでいただきました！子ども達の生き生きとした姿に感動！パワーをもらいました。

松下幸之助氏のお墓参りへ

恩師である松下幸之助氏が亡くなってから今年で20年。政経塾で生前の松下氏に直接お会いしたのは、秋葉代議士の代（第9期）が最後でした。この日は衆議院議員3期目当選の報告も兼ねて、和歌山市にある松下氏のお墓参りに行きました。



泉知事選で村井知事の応援

村井知事と共に街頭に立つ秋葉代議士



11月は、新規就農啓発強化月間 です！

私たちの食生活を支える重要な産業・農業。しかし、農業者の減少や高齢化で、農業の「体力低下」が進んでいます。カロリーベースで見た日本の食糧自給率は約40%で、世界の人口増加や気候変動、バイオ燃料の需要増加を考えると、いつまでも必要な量を輸入できるとは限りません。一方で農業への関心は高まりつつあり、新たな雇用を生み出す分野としても注目を浴びています。

健全で活力ある農業・農村の発展と、それを支える意欲と能力のある農業者を数多く育成・確保していくためには何ができるのでしょうか。実りの秋、今回は農業に注目して、これからの日本の「食」について考えてみませんか？



1. いま、宮城の農業は？

～ 自給率は国の2倍！ ～

平成19年度の宮城県の食糧自給率は、カロリーベースで80%、生産額ベースでは94%となっています。全国平均と比べるとかなり高い数値ですが、実は東北6県中では最下位なのです。また米・魚介類の自給率は200%を超える高水準ですが、米を除くと30%ほどしかありません。

一方、産業構造の面で見ると、全国平均と比べて東北地方全体として、農林水産業や食料品製造業に従事している人の割合が高いことがわかっています。

宮城の農業をより活性化させることが、日本全体の食への不安解消に役立つと言えそうですね。

秋葉代議士が県議会議員の時、「みやぎ食と農の県民条例」を成立させました。(平成12年7月10日公布) この中でも、日本全体の食糧自給率の向上に寄与するように、農業者の経営基盤強化や就農・営農支援、農業を核とした新たな地域産業の創出に県が積極的に取り組むべきことが示されています。

これに基づいて、平成21年度は①販売力強化、②県内食糧自給率の強化、③地域農業の担い手の育成確保、④農業水利施設の持続的な機能の発揮、を重点プロジェクトに掲げて取り組んでいます。



© 弘兼憲史 秋葉代議士イメージキャラクター

国レベルでは、まず自給率50%をめざします！

ことば

生産額ベース：農産物の生産活動をより適切に反映している指標

カロリーベース：生命の健康の維持に不可欠な食料について、エネルギーに着目した指標

この2つの指標を用いることで、

①良質な食料を合理的な価格で安定的に供給するという平時における考え方、

②国民が最低限度必要とする

食料について供給を確保するという不足時における考え方を示しているのです！



2. 国はどんな政策をとっているの？

～ 今やらないと間に合わない！ ～

①農地や農業用水などの農業資源の有効利用促進

…耕作放棄地解消、二毛作の推進

②担い手の支援

…「農」の雇用事業、「田舎で働き隊！」事業といった新規就業対策により当面5000人程度の雇用を創出、農商工連携による新たなビジネスの展開（今後5年間で500の優良事例を創出）、農産漁村雇用相談窓口の開設、など

③技術開発…新品種の開発、改良などの支援

④国産農作物の消費促進

…米粉の普及促進、地産地消活動、食育推進

3. 秋葉代議士の考えを聞かせてください！

～ 日本の元気は食事から～

食料・農業問題は日本の重要な問題であり、力を入れて取り組みたいと思っています。

日本の農業は、兼業農家が大半を占めているという現状を踏まえると、大規模農家や小規模農家が地域で共存する姿が望ましいと考えます。

政府はこれまで農業の構造改革（大規模化による生産コストの低下策）を進めてきましたが、大規模化だけではなく、小規模農家向けの対策を充実させることも重要なのではないのでしょうか。平成19年度では稲作農家の報酬は時給に換算すると179円しかないというデータもありますから、農家に対する経済的な支援が必要とは言ってもありません。ですがそれだけにとどまらず、長期的に農業・農村の活性化や人材の強化に繋がる形の政策もとるべきだと思います。

宮城県の旧田尻町では以前、農業体験や田園生活体験のエコツーリズムモデル事業を実施しました。このような活動を通して都会の人にも農業に対する関心を深めてもらうことも、有効な対策ですね。

また、食糧自給率を高め、農家の所得を守るためにも、これ以上の農産物の貿易自由化を進めることには疑問を感じます。足腰の強い担い手が育っていないうちに自由化や関税の引き下げが行われれば、日本の農業・農村は一層疲弊してしまいます。

農業をやりたいと思う人を増やすこと、そして、その人たちが農業で生活していける環境を整えることが、これからの農業政策には求められると考えています。

教えて！ 永田町！

国会議事堂の設計は、次のような条件のもと一般公募で行われました。(1918年)

- ①応募者は日本国民に限る
- ②募集は1次と2次に分け、1次合格者のみ2次に応募できる
- ③建物は3層で、東を正面とする
- ④建築様式は相当の威厳を保っている
- ⑤耐震・耐火・耐久構造とし、国内で調達できないものを除いて国産のものを使う
- ⑥貴族院は建物の左翼、衆議院は右翼として中央に皇室用その他両院共通の部屋を配置する
- ⑦設計など応募に係る費用は一切応募者の負担とする
- ⑧1次当選は20人で、賞金は各1000円
- ⑨2次当選は、1等1人で10000円、2等1人で6000円、3等2人で各3000円。2次に当選した人には1次の当選金は払わない



118通の応募があり、最終的に宮内庁の技官だった渡邊福三氏が1位に選ばれました。

ちなみに当時のサラリーマンの平均月収は40円前後。世界に誇れる国を創ろうという想いの熱さがうかがえますね。

秋葉けんやと語る会 ～ 国政報告会 ～

泉区

日時 11月20日(金) 19時～
場所 住吉台コミュニティーセンター
(泉区住吉台4-2-4)

若林区

日時 11月27日(金) 19時～
場所 東六郷コミュニティーセンター
(若林区二本木山王77-2)

宮城野区

日時 11月28日(土) 19時～
場所 岩切東コミュニティーセンター
(宮城野区岩切字青津目137-8)

※皆様のご来場を心よりお待ちしております！

師に学ぶ①

「先人に学ぶ」に替わり、今回からは「師に学ぶ」と題して、松下幸之助氏の言葉を紹介します！

「出来ない」そんな答えはない！出来ない理由3原則

1. すぐには出来ない…時間をかければ出来る
2. このままでは出来ない…やり方を変えれば出来る
3. 1人では出来ない…人を集めれば出来る

松下氏は指導者に必要な条件として「見方を変える」ということも教えてくださりました。一見難しいように思っても、強い信念と柔軟な発想を持っていたからこそ、電気事業所の見習い工からスタートして世界的な大企業の会長にまでなったのですね。

けんやの思い出 ～ 運動会 ～

運動会といえば徒競走。あの緊張感がたまらなかったことが、今でも印象に残っています。小学校の時はビリになったことこそないものの一度も1位にはなったことがない、平凡な結果ばかり。1位になって拍手喝采をあびる友人をうらやましく思いました。

そんな私も、中学校の持久走大会では眠っていた才能が開花！なんといきなり学年2位になり、1年生のときから、寄せ集めで作った駅伝チームのメンバーに選ばれたのです！走ることに妙に自信がついた賢也少年でした。

吉報！

☆ 村井知事、2期目当選 ☆

10月25日に行われた宮城県知事選で、村井嘉浩知事が再選を果たしました！応援してくださった皆さま、ありがとうございます。

これからも知事とタッグを組んで、「加速!! 富県みやぎ」のために努力してまいります！



開票結果

村井 嘉浩氏	647,734 票
遠藤 保雄氏	174,702 票
天下みゆき氏	51,848 票

◆ 編集後記 ◆

国会事務所の鈴村です。

10月18日、東京で東京宮城県人会連合会による「みやぎのつどい」60周年記念大会が開催されました。当日は柴田町の「奥州柴田一番太鼓」の皆さまをはじめ、たくさんの方が舞踊や歌謡を披露してくださいました。

ふるさとを離れて暮らす宮城出身の皆さまも、宮城で暮らし続けている皆さまも、誇りを持てる宮城県を作っていくため、地方分権の促進に取り組むなど秋葉代議士も頑張ってます！

～ kenya's PLOFILE ～



私たち杜の都
秋葉党

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、47才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 財松下政経塾卒塾（第9期生 宮城県初）を経て、宮城県議会議員（三期）を務める。
- 総務大臣政務官や党副幹事長などを経て、現在、衆議院議員三期目。
- 著書：「地方議会における議員立法」（文芸社）、「東北の夢創造」（ぎょうせい）。
- 趣味：野球、空手などスポーツ、音楽、映画。



秋葉賢也仙台事務所
仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057
購読料 年額6,000円
編集 ㈱アクトジャパン